
明日があるさ！

ロードスレイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日があるさ！

【Nコード】

N2547C

【作者名】

ロードスレイ

【あらすじ】

こんにちわ慎司です。これはある意味凄い姉さんと俺の周辺の人が起こすどたばたコメディです

プロローグ

「慎司いゝ待ちなさい！」

「やめてくれえ〜！」

「こら〜待てえ〜！」

こんにちは俺の名前は上代^{かみしろ} 慎司^{しんじ}、高校1年生です
父さんは今単身赴任中、母さんは・・・10年前に亡くなりました
た・・・

今姉さんに追いかけてられています・・・
理由？姉さんの気に入ってる茶碗を割ってしまったから・・・
ちなみに姉さんの名前は上代 涼子^{りょうこ}です

「くそっ！どこへいった！」

なんとか撒きました・・・

正直怖い・・・

茶碗割ったくらいでなんで殺す勢いなのか？

今トイレに鍵閉めて怒りが治まるのを待っています

ガチャガチャッ！

「！」

え？ばれた？当たり前か・・・

てかトイレじゃ逃げ場無い！？

「さあて、追いついたわねえ〜」

ぞぞおお〜・・・

凄い殺気！こっぴごうなら！

バアアアアアン!!!
勢いよく扉が開いた
てか鍵どうしたの!?
「あら・・・いないわね・・・」
「ちっ!逃したか!」
バアアアアアアン!!
閉まる音

壊れるよ・・・
もう鍵をかけたまま開けた時点で壊れてますけど・・・
「よつと・・・」
え?どこに居たかつて?天井に死ぬ気でへばりついていました
そう俺は忍者です!・・・
せん
ただ単に運動神経よくて力があるだけです

バアアアアアアン!
「甘いわあ〜!!」
「ええええ!?何で!?!」
「あんたの考えることなんてお見通しよ!」
「やばっ!どうしよう!」
「さあ〜て・・・どうしてくれようかなあ?」
「で、できれば許して」
「問答無用!!!」
終わった・・・

「私の茶碗どうしてくれるのっよ!」

「いつ痛たたたたっ!」

「気にいったたのっに!」

「ちよ!まじでやばいって!」

「うるっさい!」

なんとかコブラツイスト1分間で許してくれました

死ぬ・・・・・・・・・・

「はぁ・・・しょうがない新しいの使っしかないわね」

は?新しいのあるの?

「まあ形あるものいつかは壊れるって言うしね」

ええええ??さっきと言ってること違うよ?

「じゃ、おやすみい」

「お・・・おやすみ」

痛くて動けません・・・・・・・・

とまあ、こんな毎日です・・・・・・・・

はあ・・・・・・・・

プロローグ（後書き）

こんにちわ〜。

現在違う小説も書いておりますので
毎日更新できるかは不明ですorz

いや何で誰も捕まえなかったの!?

「先生え〜河原先生はどうして休みなんですか〜?」

「うむ、私がおそ……風で寝込んで出てこられないそうです

」

姉さん………

「お、おい慎司……あれって……」

「ああ………」

もう泣きたい………

「今日は抜き打ちテストです!」

『ええええ〜……』 クラス一同

「全員グラウンドへ集合!」

何で!?

「え〜この人は私のうわき写し………ある意味命の恩人ですの
で彼女の言う事を聞くように」(校長)

校長………もつとしっかりしろよ………

いや姉さん………どこかの悪魔みたいなことしないでよ………
………

「そういう訳で今回は恒例のドッジボール大会を開催します!」
どういうわけ?てか大会って言ってもこのクラスしか居ないから

「ジェット トリーム アターック!!!」

いや一人で投げてるから………

『ぐはぁ!』 男子3人

えええ？3人同時！？

ちなみにチーム分けは男子と女子とで別れてやっています

何故か姉さんも参加しています……

これでハンデは無くなりました……

「ふっふっふ！見たか！我が魔球！」

帰ろうかな……

「先生え……俺体調悪いので早退しま」

「ちなみに途中で抜けた者には罰を与えます」

えええええ？？？

「ん？何か言ったかな？上代君？」

「いえ……何でもありません……」

もういや……

ようやく終わって今姉さんと家に帰っています

「ああ……楽しかった」

俺は疲れたよ……

「何でいきなり姉さんが来るの？」

「ん……暇だったから？」

？付けるなよ……

「てか大学どうしたの？」

「そりゃあ校長脅し……学校休みだったのよ」

姉さん……

「それより今日の夕飯何がいい？」

「何でもいいよ……もう疲れた……」

「だらし無いなあ、あれくらいではてる様じゃこの先やっていけないぞ？」

あれから5時間もやってばてない方がおかしいです……

「さあて到着了」

やっと家に帰れました・・・

第1話 現実のヒ 魔？（後書き）

自由人の姉がやばいですね・・・
もうなんでもやりたい放題です^^；

第2話 沖繩へGO

こんにちわ慎司です
今沖繩に来ています
クラスで+姉さん付きです
え?何でかって?それは.....

1日前

「慎司い〜」

「何?姉さん?やけにうれしそうだね」

「明日から沖繩に行きます!」

「そうか、いつてらっしや〜い.....
・ってええええ!?沖繩あ!?!」

「何でまた!?!??」

「学校どうすんの!?!」

「それは校長脅して.....先生に了解もらってくる
のよ」

姉さん.....

「ちなみにあんたのクラスも一緒よ」

ええええええ???

「何で!?!」

「ん〜.....多い方が楽しいじゃない?」

「そりゃそうだけど.....」

「俺らも学校あるよ?」

「だから校長脅し.....了解してもらっのよ
もう少しっかりしろよ.....校長.....

「お金はどうすんの?」

「そこはほら、校長齋し」

「もういいです……」

「何よあゝうれしくないの？」

「いや、そりゃ行けたらうれしいけどさ……」

「なら良いじゃない」

「んゝ……まあいいか」

え？いいのか？俺

「よし決定いゝそうと決まれば早速準備よ！」

「おお〜！」

とまあこんな具合で沖繩にやってきました

お金の方は全て校長方が出してくれるそうです……
どれだけ凄い弱み握られてんの？

むしろ哀れに思う……

さてクラス全員で来てますが全員書くのは面倒なので
これから先、主に登場する人を紹介します

まずは前にも出てきた齊藤 勇樹です

一度言いましたがこいつは小学校からの付き合いです
俺の姉さんのことも知っています……

「しかし……いきなり沖繩とはな……」

「まっただだよ……」

ここからは中学校から一緒だった友達です

秋月 隼人、結構イケメンです

喧嘩が大好きです……いわゆるバトルマニア？

「あ？何か用か？」

「いや、何でもないよ」

次は桜井 玲子さくらい れいこ当然女の子です

神社の巫女らしいのですが気が強くて乱暴者です

「何か私の悪口考えてない？」

そして鋭いです………

最後に渡辺 櫻結構わたなへ さくらカワイイのですが

気が小さいのかいつもおどおどしています

「え……えつと………」

「あ、いや何でもないから」

友達これだけ？と思う方も居ると思います

いえいえまだ居ますがこのクラスではとりあえず

主に出てくるのはこの4人ですかね

「慎司いゝ追いてつちやうよお〜」

「今行くよ〜」

さあ3泊4日の沖縄生活です

こんなに学校休んで大丈夫なのでしょうか………

第2話 沖繩へGO (後書き)

さあいきなり沖繩へやってきました

どうなっていていくのでしょうか？

ちなみに俺は沖繩へ行ったことありませんorz

第3話 沖縄サバイバル？

さあ沖縄です

沖縄……だと思っております……

誰も人が居ません……

俺達を除いて……

え？何故かって？それは……

3時間前

「白い砂浜！青い海！ここがあのある有名なワイキキビーチなのかあ」

姉さん……それハワイ……

「あ！あれもしかしてダイヤモンドヘッド？」

もういいよ……

行った事無いので描写は勘弁してくださいorz

「さあ、まずはあれに乗るわよ！」

「ん？船？」

「当たり前でしょ、船以外の何物でもないわ」

「いや、もうクルージングするの？荷物置いてからの方が……」

「そうですねよ涼子さん、物事には順序っていうのもが……」

勇樹

「ああ、もう！だったらあんたらは乗らなくていいわよ！」

ええええ？？

「みんな！あの船乗りましょう！」

『はい、先生』 前々回の事でまだ先生だと4人を除いてみんな思っています

「ちよ……もうじゃあ乗るよ」
「それでいいのよ」
「まあいけどね……」

その1時間後

「うづうづえ……ぎい……もお……じいわ……る……う……いいい
……」

訳：うづえ、気持ち悪い

姉さん……

「そんなに船酔いすごいんなら、何で船なんか乗るの？」

「ばあ……つでええ……いいぎい……だあいどお……おわある……
ぶだあぼん……」

訳：だつて、行きたいところあるんだもん

「もう喋らなくていいよ……
もはや言葉じゃない……」

「この程度で船酔いかよ」（隼人）

「おい、大丈夫なのか？涼子さん」（勇樹）

「だ……大丈夫ですか？……」（櫻）

「ぶう……りいいい……じいいい……どううう……
……」

訳：無理、死ぬ

「は？ぶり？……」（隼人）

「ああ、今人間の言葉話せないから何言つたつて無駄」

「ヴあ……んだあ……ばあ……ぼおぼおおヴえでええ……う……あ
あざああびいいいびよお……」

訳：あんたら、覚えてなさいよ

「さ、さあみんなのここへ戻ろうか!」

「あ、ああそうだな!」(隼人)

「じゃ・・・じゃあ失礼します!」(櫻)

「ぢよつどおおお・・・ヴぁぢいばざあいよおお」

訳：ちよつと、待ちなさいよ

少し離れた所で玲子も・・・

そして現在

「完・全・回・復!」姉さん&玲子

うわぁ・・・明らかにテンションが違う

「で、姉さんここで何やるの?」

この島の浜には人が見当たりません

みんな家の中かな?

「サバイバルよ!」

ええええ??沖縄で?

「せつかく沖縄来たんだからもつと他に無いの?」

「無い!」

いやいや・・・

「ていうかここ本当に沖縄?」

「沖縄よ、誰も居ないけどね」

・・・は?

『じゃあがんばってねえ』 船の従業員達

気が付くと船が島から離れていました

「ありがとね〜！また4日後よろしく〜!!」

「……は？4日後??」

「ね、姉さん……まさか4日間もここに？」

「そうよ、一度やってみたかったんだあ〜こづいづの
ええええええええええ????」

「面白そうじゃねえか」(隼人)

「わ……私も……やりたいです」(櫻)

「面白そうじゃない」(玲子)

みんな……

「お、俺はこづいづのは……」(勇樹)

「さあみんな〜！今日から4日間！この島で暮らします!!」

『面白そ〜』『楽しそうだね〜』みんなの声

「各自5人一組の班を作って10分後私の元へ整列！以上!!」

『は〜い、わかりました〜』

「よし！解散!!」

もづづづでもいいや……

第3話 沖縄サバイバル？（後書き）

沖縄の風景とか書けなくてすみません^^；
行ったことが無いので・・・orz

次回は無人島でサバイバル編です
ていうかあんまり進展しませんでしたね^^；

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2547c/>

明日があるさ！

2010年12月25日02時21分発行